

前號横川定君論文正誤左ノ如シ

●正誤

頁	行	誤	正
一	下段九	被囊「チエルカリヤ」ニ及ボス	被囊「チエルカリヤ」ノ被囊壁ニ及ボス
三	三	(被囊)「チエルカリヤ」形成ニ	(被囊)「チエルカリヤ」形成)ニ
三	六	punctate	zunicht
三	七	Wirthe	Wirthe
三	一一	dis Schwamplöse "Cercarie" die schwanzlose "Cercarie" wandert aus	die schwanzlose "Cercarie" wandert aus
三	一一	成ルトキハ	成レルトキ
四	一一	證明	說明
六	一六	著シクナル	著シク小ナル
九	八	遊離「ガストマ」數	遊離幼「ガストマ」數
一一	八	遊離鹽酸約	遊離鹽酸度約
一一	一〇	ニアリモノハ	ニアリシモノハ
一三	五	三乃至四時ニシテ	三乃至四時間ニシテ
一六	一	九前夜死亡	試験ノ前夜死亡
一七	一	三八三度	三八度
二〇	一	二本項ノ	本項ノ
三四	九	〇〇一%	〇一%
三四	一〇	〇〇三%	〇三%
三七	六	五	一〇四 一六 強屈炎性
三九	一	二於ケル被囊「チエルカリヤ」チ	於ケル變化ヲ試験シ(甲試験)後兩液中ニ於ケル被囊「チエルカリヤ」チ
四二	九	〇三%以	〇三%以下
四三	四	水道ニ	水道水ニ
四三	一	二アリテハ	アリテ
四四	二	三九度五分	三八度五分
四六	八	強力性	強力性

●正誤

頁	行	誤	正
五八	一三	第六十三表二行目三段	
六〇	一〇	炭酸「ナトリウム」ニ水	炭酸「ナトリウム」水
八三	八	被囊「チエルカリヤ」ニ及ボス	被囊「チエルカリヤ」ノ被囊壁ニ及ボス
八三	一四	ノミニテハ腸液ノ用	ノミニテハ被囊壁ニ及ボス腸液ノ作用
八三	一五	シタルモノハ常水	シタルモノ、被囊ハ常水
八五	一二	於テ同一ノ	於テハ同一ノ
八五	一四	常水ニ入レ	常水中ニ入レ
八九	一五	消化酵素ハ消化産物ノ影響ヲ受ケ 又消化産物	消化酵素ハ食物並ニ消化産物ノ影響ヲ受ケ 又食物及消化産物
九〇	四	血纖維素	血液纖維素
九二	一四	試験液ノ濃度	「ペプトン」ノ濃度
九三	一二	人工胃液	人工腸液
九四	六	遊離シ難キモノ	影響セラル、ノ
九六	六	第六表ノ前ニ	二〇〇一%ノ炭酸「ナトリウム」水ニ種々ナル比例ニ「ペプトン」ヲ溶解シタルモノ
九九上段六	檢スルニ鰓軸内ニ		檢スルニ被囊「チエルカリヤ」ハ鰓軸内ニ
九九上段三	筋トナ		筋肉トナ
九九下段五	スル幼「ガストマ」		スルニ幼「ガストマ」
九九下段三	コトナリ		コトナク
一〇四	一六	強屈炎性	完全
一〇四	一六	強屈炎性	強屈光性
一〇八	一	皮反	皮膚反應
一一〇	四	診斷反應上	診斷應用上
一一〇	一	島	廣島
一一〇	二	茂	賀茂
一一〇	二	茂	賀茂
一二〇	一	茂	賀茂

前號脇田香吉君論文正誤左ノ如シ

正

皮膚反應
診斷應用上
廣島
賀茂
賀茂